



名護高校だより

2018年4月13日

第1号

校長 大城 健

校長あいさつ「新学年度のスタートにあたり」

山々が鮮やかな緑に包まれ、恵み豊かなうりずんの季節がやってまいりました。私も本校校長として2年目を迎えさせて頂き、生徒達の成長と進路実現に向けて、さらに頑張る決意を新たにしているところです。昨年度は、保護者の皆様、同窓会、後援会、地域の皆様の温かいご協力、ご支援のもと、職員一同、生徒達のために尽力することができました。そして進路面、部活動等において大きな成果をあげることができました。誠にありがとうございました。今年度もよろしく願い申し上げます。



校長(大城 健)

さて、昨年度は本校にとりまして飛躍の年となりました。北部地区の学力向上と国立大学進学者増を目的に、県立高校編成整備計画によって設置されたフロンティア科の1期生が卒業し、フロンティア科、普通科両科合わせて76名の生徒が国立大学に合格しました(H28年度は43名)。AO・推薦入試はもちろん、一般入試でも多くの生徒が国立大学に合格したことは本校にとってたいへん意義深いことです。また大学等進学者も195名(卒業生314名)と、開校以来初めて現役で60%を越えました。北部地区において、ぜひ生徒の夢を実現できる学校にしたいと考えております。専門学校進学、就職希望の生徒達の思いもしっかり受けとめて、支えてまいります。

本校は、1928年(昭和3年)前身である県立第三中学校の開校以来90年の歴史を歩んできました。先輩方から受け継いだ文武両道を実践し、その伝統に誇りと自信をもって、生徒達は今年度もさらに活躍してくれることでしょう。期待して下さい。

4 / 9 (月) 入学式挙行！ おめでとう第76期生！



名護高校体育館にて

今年の新入生は普通科240名、フロンティア科71名の計311名。吹奏楽部の演奏による入場に始まり、厳粛な中にも名護高校らしい温かみのある入学式が行われました。式の中で、「誓いの言葉」を述べたのが、新入生代表の當眞友梨さん。「入学後は勉強、部活動に全力で取り組み、文武両道を目指したい。高校三年間で夢や目標をはっきりさせ、充実した日々を送りたい。仲間達と切磋琢磨し合い、ともに成長していきたい。」と決意の言葉が一生懸命語られました。それに応えて「歓迎の言葉」を述べたのが在校生代表(生徒会長)渡具知佑麻君。「目で物事を様々な角度から見て、さらに世界を見つめてほしい。耳で仲間や先生、たくさん声を聞いてほしい。口で相手を褒め、勇気づけ、思いやってほしい。限られた貴重な青春時代、だからこそ感謝の心をもって何事にも挑戦していこう。ともに頑張るすばらしい名護高を築いていこう」と先輩らしい(3年生)、包容力あるメッセージを笑顔一杯で新入生に語りかけました。名護高校のすばらしいところは、生徒達が互いに支え合い、協力して物事に取り組むところです。HR活動、生徒会活動、部活動を通して、76期生もこれから名護高生として大きく、たくましく成長してくれることでしょう。

昨年度(H29年度)の部活動(○は県大会ベスト4以上レベル実績)



○ラグビー部、○男子ソフトテニス部、○女子ソフトテニス部、○男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、女子ソフトボール部、○男子バレーボール部、○女子バレーボール部、男子サッカー部、女子サッカー部、男子ハンドボール部、女子ハンドボール部、野球部、卓球部(男女)、○陸上部(男女)、○駅伝部(男女)、硬式テニス部(男女)、○ゴルフ部、○水泳部、ダンス部、空手部、○柔道同好会、バドミントン同好会、○放送部、吹奏楽部、○軽音楽部、美術部、○生物・化学部、○物理・地学部、書道部、英会話部、情報(パソコン)同好会、将棋同好会、ボランティア同好会